

発行人 関西障害者定期刊行物協会・大阪市城東区東中浜二丁目十の十三 緑橋グリーンハイツ1F 毎日発行 五百円
一九八四年八月二十日第三種郵便物認可

KSKP

障害者情報クラブ

ニュース 第8号

淡路・阪神大震災

△会員にも爪跡を残す

代表

井上

聖玉

一月十七日、早朝に起こった淡路・阪神大震災はたった数秒で、多くの人々の人生を変えました。特に老人、障害者等は動くことができず、ただ助けがくるのを待つしかありませんでした。どれだけの老人・障害者が死を覚悟し、肉体的・精神的苦痛から逃れられない状態に長時間あつたかわかりません。

しかし、行政の安否確認は一週間、二週間と日が経つても遅々としてすすみませんでした。一方、地域では独自のネットをもつてている障害者の団体が動

き始めました。障害者情報クラブでも会員の安否の確認を行ふとともに、ネットワークを使い、他の障害者団体と連絡を取り合ながら、老人や障害者の緊急避難の手立ての情報提供が被災障害者救援施策についての要望書を国や県に出しました。

さて、私は、この震災の直前、障害者情報クラブは読売新聞社・読売光と愛の事業団の福祉活動奨励賞を受賞し、副賞として、三〇万円を授与されました。この賞は、地域福祉向上のために長年にわたってボランティア活動を実践している団体に与えられるものです。

障害者情報クラブは、ウォーカリーや車いすガイドマップの作成など、多くの方々に協力を頂いてきた数々のボランティア活動の実績が認められ、今回の授賞となりました。当初

れに息子の三人の障害者が数ヶ月間にともに生活することとなりました。また私の職場でも、昼夜連続、土日の休みもない勤務が続き、激務の末、同僚が命を落とされました。

今回のこの震災で私が痛感したことは、ネットワークの必要性です。特に障害者、高齢者のいる家庭では家族だけでは介護できない状況がいつ訪れるかわかりません。そこで、障害者や高齢者のいる家庭は日頃からできる限り多くの人々とつながりをもち、知つてもらい、また係わつてもらつておかねばならないということです。もちろん行政が障害者、高齢者のいる家庭に対して、普段から対応できるようになります。

さて、私は、この震災の直前、障害者情報クラブは読売新聞社・読売光と愛の事業団の福祉活動奨励賞を受賞し、副賞として、三〇万円を授与されました。この賞は、地域福祉向上のために長年にわたってボランティア活動を実践している団体に与えられるものです。

障害者情報クラブは、ウォーカリーや車いすガイドマップの作成など、多くの方々に協力を頂いてきた数々のボランティア活動の実績が認められ、今回の授賞となりました。当初

この三〇万円を元に、本年度は車いすガイドマップの改訂版を出す計画がありました。しかしこの震災で、ボランティアの養成がより急務であると感じ、ボランティア養成講座「街へ出かけ隊」を開講することとなりました。この講座については次ページに詳しく掲載しています。

障害者情報クラブにも、震災後「新しい若い力」が多数加わり、障害者も健常者も共に楽しく生きるための活動がより一層充実してきました。地震により失つたものは多くありますが、一つでもその中から意味のあるものを拾い、今後も活動を続けてゆきたいと願っています。どうかこれからもご支援とご協力のほど、よろしくお願ひ致します。最後になりましたが、この震災で命を落とされた方々のご冥福をお祈り致しますと共に、被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

★一九九五年九月十九日付け読売新聞より転載

街へ繰り出し 介助法を実践

宝塚を中心に、障害者の自立を目指して活動している障害者情報クラブ(井上聖代表)は、ボランティア養成講座「街へ出かけ隊」を開く。街などに繰り出しては交流を深めながら、介助法を実践するもので、障害者と健常者の参加者を募集している。

イドマップを作つたり、毎年十

月に車いすウォークラリーを開いたりしてきた。

ウォークラリーは今年、震災で中止に。代わって、障害者の社会参加を推進し、健常者が障

害者と行動をともにすることで「毎日が戦い」の生活を実感しながら介助法を学ぶ「街へ出かけ隊」を企画。大阪・ミナミへのショッピングのほか、救急対

処法、自立生活の勉強会や旅行を計画している。

井上さんは「障害者は外出をする機会が少なく、入つてくる情報も少ない。出かけることで問題点を浮き彫りにし、街を変えたい」と話している。問い合わせは、同クラブ事務局(0797・89・8229)へ。



ボランティア養成講座

『街へ出かけ隊』

今年度は阪神大震災に関連し
た諸般の情勢を考慮し、車いす
ウォークラリーの開催を見合わ
すことになりました。その代わ
りに読売愛と光の事業団よりい
ただい表彰金を資金とし年間
を通して企画をたてました。そ
れがボランティア養成講座『街
へ出かけ隊』です。

この企画は、障害者情報クラ
ブの趣旨にある「障害者の生活
の『質』の充実を見据えた障害
者の自立生活を支援するシステ
ムの研究」の部分を具現化する
方法として位置付けています。

具体的には次のような企画を
たて、正会員を中心に最初は近
いところから外出を始め、徐々
にそれを遠く伸ばしていくこと
で介助や社会システムの問題点
を浮き彫りにしながら体験して
いき、最終的には宿泊を通して

あらゆる生活の介助を実践して
いきます。またあいだに理論な
どの学習会もあります。

そしてこの企画を続けていく
ことで毎日が戦いである障害者
の生活を実感し、若い世代がこ
の企画に参加していくことが、
私達が設立当初から目指してい
る「自立生活センター」の実現へ
一步前進することになります。



★九月十六日(土)

街へ出かけ隊② 総合福祉センター
外出介助・救急対処法等実践学習会
体系的な肢体視覚障害者外出介助
街へ出かけ隊③ 難波方面

★十月二十一日(土)

ショッキング・ショッピング!
買い物を通してコミュニケーション
街へ出かけ隊④ 場所は未定

★十一月十八日(土) ★十二月十六日(土)

自立生活についての学習会・体験談
当クラブ恒例クリスマス会のため休み

★一月二〇日(土) (一九九六年)

街へ出かけ隊⑤ 場所は未定
自立生活についての学習会

理論と制度 映画か観劇

★二月十七日(土)

街へ出かけ隊⑥ 総合福祉センター
スペシャルの準備・打ち合わせ

★三月十六日(土)

街へ出かけ隊! スペシャル
学習成果発表をかねた総合イベント
スペシャルの準備・打ち合わせ

★四月二〇日(土)

街へ出かけ隊⑦ 予行演習
⑧宿泊の準備・打ち合わせ

★五月十八日(土)・十九日(日)

最終定例会 街へ出かけ隊⑧
いよいよ宿泊訓練

今号より、福祉に関連した制度やその利用法について、シリーズでご紹介致します。シリーズの一回目は公的ヘルパーについてです。

『宝塚市のヘルパー制度』

宝塚市では手助けの必要な高齢者や障害者のために、次のようにヘルパーを必要に応じて、

宝塚市(以下、市)及び宝塚市社会福祉協議会(以下、社協)より派遣しています。
市の派遣条件に合わない場合でも、社協より一時間当たり200円~1000円+交通費(実費)で派遣してもらえる場合があるので、直接、社協(☎八六一五〇〇〇)に問い合わせてください。概要是次のとおりです。

【ホームヘルパー制度】

日常生活を営むのに支障がある高齢者や障害者がおられる家庭で、家族だけでは充分な家事や介護ができない家庭にヘルパ

- ・相談、助言(生活、身の上、
- ・身体の介助(食事の介助、排泄の介助、衣類着脱の介助、入浴の介助、身体の清拭・洗髪、通院の介助)
- ・家事の援助(調理、衣類の洗濯・補修、住居等の掃除・整理整頓、生活必需品の買い物、関係機関との連絡、その他必要な家事)

ーを派遣する制度で必要な援助を行います。

① 対象者

- ・おおむね六十五才以上
- ・重度の身体障害者(児)、心身障害者(児)の方
- ・その他、特に介助が必要と認められる方

② サービスの内容

- ・保健婦が来訪し、身体状況や希望等話し合いの上、活動内容を決定します。決定内容にもとづき、ホームヘルパーが派遣されます。

介助に関する相談、助言)

※原則として、週に1~3回程度、一回1~3時間

③ 利用料

世帯の生計中心者の前年の所得税額によって決定されます。

④ 申し込み方法

次のいずれかの窓口に相談・申請します。

- ・宝塚市役所 在宅ケアサービス課(☎七一一一四一)
- ・宝塚市社会福祉協議会 ヘルパーコーナー(☎八一六二四一、☎八六一五〇〇〇)

【全身性障害者

介護人派遣制度】

昨年の十二月一日付けで、兵庫県下で宝塚市にも西宮市に次いで、『全身性障害者介護人派遣制度』が創設されました。

独り暮らしのお年寄りや障害者には、不可欠な制度です。

① 利用対象者

宝塚市在住の十八歳以上の者で次の何れかにも該当する者。

ただし、施設、病院に入所または入院している者は除く。

(1) 身体障害者手帳を有する者は障害の程度が一級の全身性障害者。

(2) 六十五歳以上の高齢者のみの世帯等で、家族の介護が得られない者。

② 介護人

利用者が確保した十八歳以上のもので市に登録している者。

ただし配偶者、3親等の家族、同居人は除く。



*介護人には、ホームヘルプサ

サービス事業の介護に関する手当額に準ずる額の手当が市から支給される。

③派遣時間

介護人の派遣時間は、午前七時から午後十時までの実際の介護に要した時間で一ヶ月百二十時間以内とする。

④利用料

利用世帯の生計中心者の前年所得税額により、一時間当たり〇～九百二十円。

※利用者の申し込み、介護人の登録等の問い合わせは、介護サービス課へ。

西宮市にもこの制度があります。ただし、介護人派遣かホームヘルパーを選ばなければなりません。

それに比べると宝塚は、どちらも使えてるので、利用時間が2倍も違います。まだ時間的には足りないですが、かなり重度な障害者でも、宝塚なら一人で暮らすことが可能だと思います。

私も利用者の一人です。今は午前七時から午後十時までですが、二十四時間利用できると、もつと利用範囲が広がり、利用する人も増えると思います。

(広内)

【ガイドヘルパー制度】

一人で外出するのに支障のある障害者の方を援助する制度です。

①対象者

- ・十八歳以上で視力に障害のある方（視力障害一・二級）
- ・十八歳以上で全身性障害者の方

②サービスの内容

通院、買物、食事などの外出の援助（通勤、通学には利用できません）

※日帰りであれば一日何時間でも利用できますが、一ヶ月に六〇時間を越えることはできません。

③利用料

利用者自身の前の年の所得税の額によって決定されます。区分はホームヘルパー制度の表に同じ。

④申し込み方法

事前の登録が必要ですので、次の窓口に問い合わせてください。

- ・宝塚市役所 在宅ケアサービス課（☎71-1141）



（社協ヘルパーコーディネーター・為岡さん）

今回の淡路・阪神大震災で、私の芦屋の実家が全壊し、九十二才のほとんど寝たきりの祖母と母が、私達の家に避難してきました。そのため、家中で、主人、長男、祖母の三人が車いすの生活になりました。初めの三ヶ月間は一つの屋根の下で、たいへんな日々でしたが、現在は母と祖母は近くのアパートに移り、ホームヘルパーさんに来て頂きながら生活しています。またヘルパーを通して、本人と家族や地域とのつながりを広げていきたいと思っています。ヘルパーさんたちは入浴・家事・助言など、本当に親身になって対応してくださっています。できるかぎり在宅で介護を希望されている皆さん、どうぞ一度窓口にご相談ください。

（レポート・井上みえ）

すべての子どもに学童保育を!

日本が批准している児童憲章

において、子どもの権利は平等であると記され、日本もそれに捺印している。ゆえに現在、地域に住む子どもは地域の学校に通学している。しかし、そのわくから外れた学童保育においては、障害を理由に拒む市町村が今もある。

下記にあるように、厚生省がコメントしているにもかかわらず、宝塚市においても、障害を理由に宝塚市教育委員会育成課が受け入れを拒否した例が最近二件もあつた。これは人権の上でも許されざることであり、是正を要求する。今後、育成課及び育成指導員の判断により入会が拒否されるようなことが二度と起こらないことを切望する。

—軽度障害で学童保育拒否—

人権救済の西田胡玉書

広島・擁護委

広島県府中町内の小学校に通う長女(七つ)が軽度の知的

障害を理由に町立の学童保育所入りを断られたのは不当と

して、同町に住む会社員(三十七)と公務員(三十六)夫婦が広島弁護士会人権擁護委員会(桂秀次郎委員長)に人権

司法の立場から行政に要望したのは全国初としている。

委員会によると、長女は軽度の知的障害があると判定され、

昨年四月に小学校の障害児学級に入学。両親は共働きで、町立の学童保育所に入所を申し込んだ。

同擁護委員会は障害児を持つ親の介護・教育費負担の大きさを指摘。町の受け入れ拒否は行政サービスの平等を保障した地方自治法や、同条約に違反するとしている。

厚生省児童家庭局育成環境課の話「障害の有無で子どもを区分するべきではない。入所年齢に達した子どもは、無条件で入所を認めるのが原則だ。障害によつては施設への入所が好ましい場合もあり、その判断は自治体に任されている」

ところが、町教委は排便などに介助が必要で、指導員の増員を迫られるとして受け入れを拒否。両親は現在、ホームヘルパーを頼んで下校後の世話を任せている。

(一九九五年八月四日付・

読売新聞より転載)

△

員

の
声

★八月二日午後、『街へ出かけ隊』によるイベント第二弾として、宝塚花火大会観賞会が、アミリーランド内特設会場にて催されました。午後七時、阪急宝塚駅に当クラブの面々が夏の宵を楽しもうと涼しげないでたちで勢ぞろいしたときには、周辺はすでにひとヒト人の波。いざ会場へのぞまんとするも、ごつたがえす人だかりをおしわけての行程でした。この先どうなったがえす人だかりをおしわけることかと思いきや、特設会場にきてみれば丸で別世界のよう格別のものでなし。入場口のお姉さんのいらっしゃいませの声に誘われるよう、フラフラと会場内に入つてみれば、今までのひとごみがうそのようにゆつたりと快適なところでありました。

ひとりひとりに豪華なお弁当

が用意され、飲み物は当然のように飲み放題。同席した方々と一口二口ビールなどくみ交わすうちに始まつた花火がまた素晴らしいものでした。テーブルの上に降らんばかりの流れ星が満天にひろがる華の宴か、と周囲の面々も大絶賛、あるいはただただ感嘆するばかりでした。

一同しばし、真夏の夜の夢を満喫したのち、隨時解散となりました。

その後、はんしん自立の家からきていた三名と企画局の二名が門限の関係により安倉のキントーン作業所に外泊することになりましたことをつげくわえておきます。途中寄り道をしてファミ

★はじめてキントーンに泊まつてたのしかつた。家と同じように、おそらくまだあそんで、ボランティアで友達の人達と、のん

だりたべたり、しゃべつたりしてたのがたのしかつた。高田さんが、学校の怪談でひとりで怖がつてたのがおもしろかつた。私も少し怖かつたけど……。花火がとてもきれいでした。

(山村)

★タベは花火がとてもきれいでした。ぼくは、初めて宝塚の花火大会に参加できて、とても嬉しく思いました。また、こんな機会がありましたら呼んでください。楽しみに待っています。

(早川)

が用意され、飲み物は当然のように飲み放題。同席した方々と一口二口ビールなどくみ交わすうちに始まつた花火がまた素晴らしいものでした。テーブルの上に降らんばかりの流れ星が満天にひろがる華の宴か、と周囲の面々も大絶賛、あるいはただただ感嘆するばかりでした。

★花火の響きをお腹で感じ、電動車椅子の重さを腕で感じ、道のこぼこを足で感じ、情報クラブの存在の大きさを強く心に感じたとても素敵なかつた。

(高田)
★はじめてキントーンに泊まつてたのしかつた。家と同じように、おそらくまだあそんで、ボランティアで友達の人達と、のん

だりたべたり、しゃべつたりしてたのがたのしかつた。高田さんが、学校の怪談でひとりで怖がつてたのがおもしろかつた。

(藤山)

★私は、花火大会は本当に初めて、一回は、自立の家の屋上で見たけれど、こんなにまともに見たのは初めてで、なんだか感激しました。そして、花火大会が終わつた後、冗談で学校の怪談を見にいこうか、と言つたら、みんな本気にして、結局見にいくはめになりました。私はもとから、お化けなどきらいなので入るのが少しとまどつたけど、入つてみたら、けつこうおもしろかつたので、こんなお化け屋敷だつたらもう一度入りたいと思いました。

(藤山)

障害者政策研究第2回全国集会

阪神・淡路大震災から約2年。被災地の現状から、自立生活／まちづくり／教育／労働等、当事者の手で障害者政策を見直そう！

阪神・淡路大震災での大きな支援をありがとう

障害者政策研究 第2回 全国集会は、

神戸で一人一人の、生きる勇気と未来を語り合おう！

あの阪神・淡路大震災、地域での自立生活を作ってきたと思っていた私たちは、仲間を失い、差別社会の現実をあらためて体験させられました。その私達に生きる勇気と、新しいまちにマイノリティーの人権を創るエネルギーを与えてくれたのは、全国からのみなさんの大きな支援でした。そしてまた、障害者政策研究全国集会の開催の機会を与えていただきました。お礼を申し上げ、現状を報告し、そして心を通わせながらいっしょに未来を語りたいと思います。みんなの期待に添うように精一杯の準備に努力しています。

11月30日～12月1日、ぜひとも神戸に来て下さい。みんなの予定に入れて下さい。また集会の成功にむけてご協力いただきますよう重ねてお願ひいたします。

◆開催日時 1996年11月30日(土)午後1時～12月1日(日)午後4時

◆日程内容 ●11月30日……全体会 テーマ=障害者プラン

- 12月1日……分科会 1. 自立生活
- 2. まちづくり
- 3. 教育
- 4. 若者
- 5. 労働・作業所

◆開催場所 神戸市・しあわせの村

◆参加費 全体会・分科会参加費 3,000円

レセプション参加費(予定) 4,000円

12月1日昼食代 1,000円

+宿泊・朝食 実費

計 8,000円+宿泊・朝食実費

◆お申込先 障害者情報クラブの会員の皆さんは当事務局、会員以外の皆さんには直接現地事務局(下記)まで申し込んでください。

□現地事務局 神戸市兵庫区松原通1丁目 須佐野公園内
被災地障害者センター気付

TEL 078-672-0845

FAX 078-672-8797

〈主 催〉 障害者政策研究全国実行委員会(順不同)

D P I(障害者インターナショナル)日本会議

全国公的介護保障要求者組合・全国自立生活センター協議会

障害者総合情報ネットワーク

日本脳性マヒ者協会・全国青い芝の会総連合会

差別とたたかう共同体全国連合

障害児を普通学校へ・全国連絡会

〈後援団体〉 兵庫県／神戸市／兵庫県社会福祉協議会／神戸市社会福祉協議会

マスコミ事業団／企業財団等 を予定

〈協力団体〉 協力労働団体／民主団体 を予定

〈よびかけ団体〉 障害者問題を考える会兵庫県連絡協議会／被災地障害者センター

〈加盟団体〉 みんなの労働文化センター／サニーサイド作業所／菜の花の会／クレヨンハウス／障害児(社)とともに歩む虹の会／尼崎身体障害者連盟福祉協会／C B Aの会／障害や共同作業所あかね／トライアングル／「障害者」と共にバリアフリーを考える伊丹の会／伊丹教育を考える会／障害者情報クラブ／宝塚キントーン作業所／精神医療を考える宝塚の会／障害児・者問題なんでも話す会／しゃくなげ農場／麦の家／阪神障害者解放センター／新生会／メインストリーム協会／内部障害者の福祉を守る連絡会／兵庫草の根ろうあ者こんだん会／第2きんとーん／青葉園／障害児・者情報センター／すばる舎／全国一般兵福労・甲山福祉センター支部／えんぴつの家／神戸・心身障害児者を持つ兄弟姉妹の会／くるま椅子マップを作る会／自立生活センター神戸・B e すけっと／薬害・医療情報センター／兵庫県スモンの会／兵庫県精神医療人権センター／ピータンハウス／C S Bぶどうの会／神戸市精神障害者家族会／障害者問題を考える明石市連絡協議会／ほのぼの／ぶったあ作業所／加古川の教育を考える会／ひびき共同作業所／ザ・夢社会

同居人を探しています。

尼崎に住む曾我部教子さんが、同居してくれる介助者(女性2名)を探しています。

介助は夜間のみで、当番の日に7時頃までに帰り、必要に応じて簡単な介助をしてもらいます。介助内容は、パソコンの用意や就寝準備、検温、薬やお茶を飲ませるなどで、炊事、洗濯、買い物、食事介助は一切ありません。

同居してくれる方の、権利金やお部屋代はいりません。

曾我部さんのマンションはJR尼崎駅より17分、阪神杭瀬駅より12分のところにあります。是非ご協力をお願いいたします。詳しくは下記まで。

い でん

曾我部さんを支援する会 井殿恵二

池田市住吉1丁目10の2 TEL 0727-61-4277

※出来れば午後8時以降にお願いします。

第5回

車いすウォークラリー

歌劇の街探訪

気がつけば、既に一年のこの尾になつてしましましたが「第5回車いすウォークラリー」は宝塚市制40周年を機に宝塚市より助成金をいただき、それを元に実行委員会を組織して行いました。もちろん助成金だけではやつていけないので、関係者からカンパを集めたり街頭募金やバザーで資金を調達しました。

実行委員会形式を採用したのは、規模が大きくなりすぎたことで当クラブだけでは細部に目が届かなくなつてきて、それが様々なトラブルの原因となつてきましたからです。

一昨年十月三〇日の開催日には、汗ばむほど快晴の下、三のALBAZO CHIKAさ

百九〇名近くの参加者・スタッフの他、正司宝塚市長など十数名の来賓の方々が二週間後の完成を控えた宝来橋に集い、ソリオ一帯、花の道、手塚治虫記念館、宝塚大橋、サンビオラを巡り歩きました。前回同様、阪急電鉄のご協力により電車の乗降も体験してもらいました。進んでいくうちにエレベーターのある位置を覚えていくよう

となりました。また機会があればウォークラリーをやってみたいく思います。(第5回車いすウォークラリー実行委員長)

（主催）第五回車いすウォークラリー実行委員会・宝塚市・障害者情報クラブ・宝塚市社会福祉協議会・宝塚市肢体障害者協会・宝塚中学校区青少年育成市民会議・宝塚YMCA・宝塚ワーズメンズクラブ・宝塚外出介助の会・ボイスカウト宝塚地区・ガールスカウト宝塚市協議会

（後援）宝塚市教育委員会

（協賛）（財）兵庫県身体障害者福祉協会・大塚製薬株式会社・宝酒造株式会社・ぼんち株式会社・ソリオきた商店会

（協力）小林聖心女子学院高等学校・余田登志江・宝塚市民生委員協議会・いずみ会・宝塚文化財ガイドソサエティ・阪急電鉄株式会社・マスダ・ALBAZO CHIKA・清荒神清澄寺（敬称略・順不同・抜けてたらごめんなさい・皆さん、ありがとうございました。）



吉永光一さん・長岡暁子さん

新婚旅行記

♥想い出のハワイ ♥

▼六月十二日（月）

【関西国際空港出発】

少し早めだが、夕方五時には宝塚の家を出発。湾岸線もまつたく混んでおらず、スマーズにりんくうタウンに到着した。ただ、公共第一駐車場がなかなか見つかず、右往左往。明るいうちに来ていてよかつた。第一駐車場からは空港へのシャトルバスが十分おきに出ており、それに乗る。もちろん彼は、駐車場の力強いおにいさん（係員）に抱えあげてもらつた。

まもなく空港の四階出発ロビー前に到着。空港の中に入り、その広さにびっくり。でも、全体的に金属的で、無機質な冷たい感じもした。やがて集合時間の九時になつたので、出発ロビーや「vital」デスクへ。スイッチケースのチェックを終え、

機内預かりに。自操式の車いすならば、どうやら搭乗ゲートまでは自分のものに乗つていけるようだ、ラッキー。

空港係員の先導で出国手続きのカウンターを通過し、ウイングシャトルやいくつものエレベーターを乗り継いで、やつと搭乗ゲートにたどり着いた。途中免税店があり、人々はそこで楽しそうにショッピングや時間つぶしをしているようだつたのだけれど、係員に案内されている私たちにはその自由は許されない。それ以上に、出国手続き力

は初の海外旅行への旅立ちとなる。

十一時、ほぼ定刻に離陸。彼は飛行機を降りると、到着ゲートから入国審査のフロアまでは身障者用の送迎バスがある。車いすに乗つたままリフトでバス内に上げられ、ベルトで固定されるので安心。私たちのほかにも二人の身障者とその同行者が乗車。

寝ている間に、日付変更線通過。目が覚めると、機内には陽がさし込んでいる。もうすぐハワイだ。彼の機内での用足しを捨てにお手洗いへ。お手洗いの室内は非常に狭く、健常者さえお手洗いの中での方向転換は

難しい。

搭乗案内の時間が近づくと、係員が空港・機内専用の車いす

やがてホノルル空港に着陸。

操縦者がうまいのか、着陸にはほとんどショックなし。飛行機が止まるとき、他の乗客が降りるのを待ち、最後に少し色黒の頑丈そうな係員が車いすを持ってくれた。彼が飛行機のシートから車いすにトランクファー

しようとすると、ヒヨイとかかえて車いすに移してくれた。なんて頼らしい！

▼六月十二日（月）

【ハワイ到着】

寝ている間に、日付変更線通過。目が覚めると、機内には陽

がさし込んでいる。もうすぐハワイだ。彼の機内での用足しを捨てにお手洗いへ。お手洗いの室内は非常に狭く、健常者さえお手洗いの中での方向転換は

難しい。

「spinalicord」というが、発音が悪いのか一度では通じない。やつぱり、ここ

は外国なんだ。入国手続きを終え、団体出口から出ると、そこにはすぐ旅行会社「Vita」の現地係員が待っている。一般的なダイレクトチェックイン客は旅行社専用バスでホテルに向かうが、彼は乗れないので、スリッケースだけを預けてタクシーでホテルへ。アメリカの車はみんなそうみたいだけれど、後部ドアが非常に狭くてトランスファーがしにくい。一方で、乗つたタクシーはたまたまワゴン車だつたため、車いすはたたまずに乗せることができた。ホテルまでの料金は二十一ドルちょっと。

ホテルにあるツアーデスクに行くと、ルームキーはもう用意されていた。すぐにチェックインできる。ラックキー。でも、飛行機のフライトが二十三時(六時過ぎ)日本時間)だつたので、時差はさほど苦痛ではない。部屋はただただ広く、風呂、トイレスも広いが、手すりが高いため、トイレから出ると、そこには彼の弁。日本のホテルのことを考へたら贅沢だゾ。ラナイから見える景色はこの世のものとは思えないほどきれい。あー、ハイに来たんだ。やがて、送迎バスに乗せたスリッケースが部屋に届く。

しばらくして、さっそくショッピングにくり出しが、街中は車いすで行きたいところが全くといつていいほどない。段差の心配をする必要がないのだ。ただ、唯一不便なのは、歩道と車道の段差が高いのにもかかわらず、歩道の切れ込みが横断歩道に面していないこと。横断歩道の二方向の切れ込みが、一ヶ所にまとめられている感じ。

▼六月十三日(火)

Honolulu

Zoo

ホノルル・ズーは入園料三ドムとはいえ、ひとりでの入浴はちょっと危ない。もうひとつ不便だつたのは、シャワーが高い位置に固定されているため、思い通りのところにシャワーをかけることができない。これは健常者の私でも苦労して入浴。

動物園の中は、日本のものと違つて、ずいぶん緑が自然。言いうによつては、整備度合いが低い。日本の動物園は美しくしつらえてあるが、この動物園は野生的。それがコンセプトなのか、アメリカ的なのか、動物たちの檻も開放的で、動物が手にとるように観察できる。でも悲しいかな説明文の英語が読めないため、「ざる」だと「鳥」とかいう以上には、いつたいどんな動物なののかは分からぬ。夕食は、ロイヤルハワイアン

らしいちょっとしつこいソースのかかつたピザとビールで夕食をします。いい気持ちになつたのもつかの間、彼が風呂に入る

という。介助をしなければならない。ハンディキャップ・ルームとはいえ、ひとりでの入浴はちょっと危ない。もうひとつ不便だつたのは、シャワーが高い位置に固定されているため、思い通りのところにシャワーをかけることができない。これは健常者の私でも苦労して入浴。

ホノルル・ズーは入園料三ドル。身障者もいっぱいの人間というとか、障害者ゆえに行けないところもないからか、障害者割引はない。これこそまさにノーマライゼーション。

動物園の中は、日本のものと違つて、ずいぶん緑が自然。言いうによつては、整備度合いが低い。日本の動物園は美しくしつらえてあるが、この動物園は野生的。それがコンセプトなのか、アメリカ的なのか、動物たちの檻も開放的で、動物が手にとるように観察できる。でも悲しいかな説明文の英語が読めないため、「ざる」だと「鳥」とかいう以上には、いつたいどんな動物なののかは分からぬ。夕食は、ロイヤルハワイアン

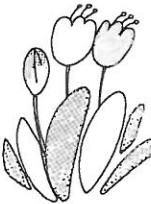
ショッピングセンター内の「浪速屋」という店舗へ。すべてが日本語で通じる世界は、やっぱり居心地がいい。妙なメニューもあるけれど、基本的にはおいしい。やっぱり揚げ物がもつとも得意らしい。

▼六月十四日(水)
【ダイヤモンドヘッド、アラモアナ・ショッピングセンターへ】

オプショナル・ツアーは、ほとんど参加できそうにないものばかりだが、サンセット・クルーズだけは少々あきらめがたい。

朝一番に、「Visit a」のデスクに様子を聞きに行く。五スターならリムジンでフェリーまで行くようだが、フェリーの客室内は階段になつておらず、参加は難しいという。ハワイなのにエレベーターぐらいつけとけよ。でも、このへんが「日本人向けのオプショナル・ツアー」らしいところなのかもしれない。抱えあげてもらつてまで行きたくないので、スゴスゴと帰る。これで、参加できるオプショナル・ツアーは皆無であることが判明。

今日は、日本すでに予約していたレンタカーを借りに「H



earz」へ。手続きのカウン

道はコンクリートで固めてあ

ターでは、日本語はほとんどといつていいほど通じない。予約書類があつたため、かろうじて手続きができた。本来なら、借りる人間が車を出庫しなければ手続ができない。

かりに車を表道路まで出してくれた。出てきたのは真っ赤なT-Bird。特に何の説明もなく担当者は帰つていったが装置の使い方がわからない。ア

クセルも、ブレーキも、すべて手探りで確認。ブレーキ・ロックはなし。サイドブレーキは手では操作できない。

ホノルル・ズーの周回道路を練習をかねて何度もまわり、一路ダイヤモンド・ヘッドへ。ふもとに駐車場があり、車はここまで。「頂上までは二十五分程度。スニーカーを履いて、散歩気分で頂上まで行つてみよう」というガイドブックのことばを信じて、2人で登りはじめる。

ターナーでは、日本語はほとんどといつていいほど通じない。予約書類があつたため、かろうじて手続きができた。本来なら、借りる人間が車を出庫しなければ手続ができない。

かりに車を表道路まで出してくれた。出てきたのは真っ赤なT-Bird。特に何の説明もなく担当者は帰つていったが装置の使い方がわからない。ア

クセルも、ブレーキも、すべて手探りで確認。ブレーキ・ロックはなし。サイドブレーキは手では操作できない。

ダイヤモンド・ヘッドを出発し、今度はアラモアナ・ショッピングセンターへ。ここは駐車場は斜行駐車方式なので、一般スペースでも車からの乗り降りはしやすい。

とりあえず、ショッピングセンターのフードコートで昼食を摂ることにする。ちょうど昼時だつたため、満席。でも、いちばん端に位置するテーブルには

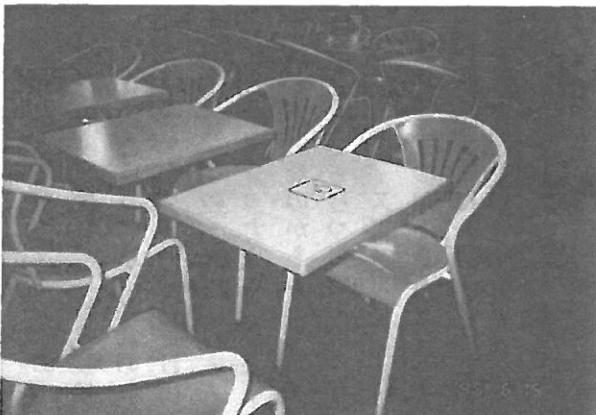
ところどころ車いすマークがあり、障害者のために確保されている。ラッキー。たまには障害者でもいいことがあるらしい。

ショッピングセンター内も、まずは不便することはない。でもハワイでは基本的に、車いすではエスカレーター使用禁止となつていて。エレベーターが完備されているために、こうしたことが可能なのだろうが、場合によつては不便に感じるのも。訴訟社会のアメリカにあつては、危険はできるだけ避けたいという考えに基づいているのだろう。

▼六月十五日(木)

【サンセット・ビーチへ
ドライブ】

車の運転も二日目。サンセット・ビーチへ向かうべく、ハイウェイ「H-1」に乗らねばならないのだが、インターの入口付近は一方通行の進入になつて



おり、なかなか入れない。Uターンなどをしてやつとの思いで「H-1」に入つたものの、ナビゲーターが悪く、道をまちがえてしまつた。市街をはずれる

「H-1」の終点から九十九号線を経て八十三号線に入ると、海岸に向かつて北上する長い下り坂では、眼前に一面の海が広がつていて。海にダイブする感じでキレイ、キレイ。やがて、サンセット・ビーチ着。絵から抜けだしたような美しいビーチ。この日はあまり波もたつておらず、サーフィン日和ではないというのは彼。とてもきれいな海、きれいな砂浜なんだけれど、彼は車いすがスタートして動けない。

ちょっとリッチに昼食を食べ

ようと、タートルベイ・ヒルトン・ホテルに入る。ひなびた田舎町のホテル。薄暗いホテルの中に入つていくと、そこにあつたレストランの入口には階段があつて行けない。さすがハワイでも、田舎町のホテルでは車いす対応は十分ではない様子。車いす客は、ホテルにいたわずかな時間の間にも二人も見かけた

のに……。仕方なく、一ドル五〇セントの駐車料だけ払つてえなく出発。

▼六月十六日(金)

【ヌアヌ・パリ展望台、

ワイケレ・センターへ】

彼は、運転も三日目になるとさすがに少し余裕がでてきた様子。道もずいぶん覚えて、あまり迷わずにヌアヌ・パリ展望台へ。ここからは、オアフ島東海岸のきれいな海がみわたせる。でも、すごい風。彼は車いすもうとも吹き飛ばされそう。私の要望をかなえてもらつたので、次は彼の希望の地、ワイケレ・センターへ。今年四月に開業したという、新しい大規模アウトレット・ショッピングセンター内の移動だけでも距離があつてたいへんなので、要所をトロリーバスが結んでいる。また、もつとも建物に近いところに位置する駐

車スペースは、二列にわたつて端から端まで障害者用となつてゐるのは、さすがと思わせる。リビングセンターやK・マーク、スポーツ用品のディスカウントストアも併設されている。ただアウトレットの店は、特に衣料品は目ぼしいものがない。帰りにレンタカーを返却しようとしたが、あいにく契約書を持参しておらず、借りるとき以上に苦労。担当者が「ガソリンは補給したか?」と聞いているのだが、彼は固まつてしまつて答えない。おまけに、整備のないちゃんは、身障者用の運転装置を「忘れ物じやないのか?」と、しきりに取り外してくれようとしている。

夜は、ホテル一階にあるイタリアンレストランで食事。ホテルのレストランだから、日本語がバリバリで通じるものと思いきや、ここでもほとんど通じない。いかにもイタリアンレストランは目ぼしいものがない。その代わりに、日本語の日本語は通じるが、少しイングリッシュのことになると対応できない。その代わりに、日本語の日本語は通じるが、少しイングリッシュのことになると対応できない。サービスのデスクを別途用意している。ただし、このデスクを利用できるのは朝の十時ぐらいから夕方五時まで。

▼六月十七日(土)

【みやげものショッピング】

この日は、まだおみやげを買えていない分を買いあさる。ついでに自分たちの買い物も。

D F S (D u t y F r e e

S h o p p e r s) は、品物のバラエティーは限られるもの

の、免税というだけでなく基本的に、免税というだけでなく基本的には安い。ただし、購入品の包装はしてくれない。また、DFSに限らず、どこの専門店でもまず日本語は通じる。日本語がわかる店員がひとりはいる。

彼が、「The Bus」に乗らなかつたこととシユーティントなどでも、通りいつべんの日本語は通じるが、少しイングリッシュに行かなかつたことが心残りだとうるさいので、夜にロイヤルハワイアン・シユーテイングクラブに行く。幸い、この日は待ち時間も少ない。驚いたことに、ここにも車いす用の一段低い射撃ブースが用意されている。リボルバーとオートマチック、そしてライフルを撃つた。

▼六月十八日(日)・十九日(月)

【日本へ】

ホテルから空港へはタクシーで。空港のタクシーが到着する場所には、すでに「v i t a」の担当者が待つており、バゲージと出国の手続きをすぐにすませてくれた。搭乗ゲートへの集合時間まで、一時間半は自由に過ごせる。日本で一部始終拘束されてきたのはえらく違う。

彼が、「The Bus」に乗らなかつたこととシユーティントなどでも、通りいつべんの日本語は通じるが、少しイングリッシュに行かなかつたことが心残りだとうるさいので、夜にロイヤルハワイアン・シユーテイングクラブに行く。幸い、この日は待ち時間も少ない。驚いたことに、ここにも車いす用の一段低い射撃ブースが用意されている。リボルバーとオートマチック、そしてライフルを撃つた。

DFSで待ち合わせることになつたのだが、搭乗ゲートの集合時間直前になつても彼は来ない。やむなくDFSの入口の女性店員に、車いすの男性が来たら、搭乗ゲートに先に行つていう旨伝えてほしいと言ひ残し、急ぎ搭乗ゲートへ向かう。

一縷の望みをもつていたものの、搭乗ゲートにも彼はない。搭乗ゲートには日本語のわかる係員はいらないらしい。カタコトの英語で現状を伝えることはできても、彼が車いすであること、お手洗いで倒れているかもしれないといつた懸念までを伝えることはできない。搭乗ゲートにいる酒・タバコのみのDFSの店員に、どこに相談したらしい

かを尋ねようと客の列に並んでいたところ、彼が汗だくで登場。どうやらお手洗いでトラブルがあつたらしい。ありがたいことに、私が伝言した出発ロビーのDFSの店員は、空港の係員に事の急を告げていってくれ、係員は彼を搜してくれていたようだ。私がすでに搭乗ゲートに向かつていることは、すぐに伝わつたらしい。感謝。

といふわけで、何とか事なきを得たが、彼は下着の着替えを機内持ち込み手荷物に入れておらず、この後非常に苦労することになった。教訓、必ず一回分の着替えぐらいは機内に持ち込もう。もうひとつの教訓は、ハイといえどもやはり外国なのだから、英語も多少は話せないと非常時に困るということ。

でも、総じて楽しい旅行だった。また、来年も行けるよう、一年間がんばろう。

(おわり)

いたところ、彼が汗だくで登場。どうやらお手洗いでトラブルがあつたらしい。ありがたいこと

に、私が伝言した出発ロビーのDFSの店員は、空港の係員に事の急を告げていってくれ、係員は彼を搜してくれていたようだ。私がすでに搭乗ゲートに向かつていることは、すぐに伝わつたらしい。感謝。

☆会員の吉永光一さんと長岡暁子さんが昨年6月に結婚されました。既に結婚は、時間の問題

だつたお二人ですが、震災でアパートを失つた暁子さんが吉永

どなたでも結構です。藤山さんの方までご連絡お願いします。電話は、〇七九八一六六一三五六八です。

初めての方、経験のある方、どなたでも結構です。藤山さんの方までご連絡お願いします。

車いすウォークラリー皆勤賞の林すまこさんが今年、お亡くなりになりました。ガイドビデオ製作をお手伝い戴いたロジャー(D.R.ウイブー)さんが交通事故でお亡くなりになりました。

ご冥福をお祈り致します。

☆バザー用品提供御礼

いつもバザー用品提供にご協力いただきありがとうございます。宝塚フェニックスまつり・チャリティバザーにもたくさん

の品物を提供していただきました。また、いつも手作りブローチを提供してくださる余田登志江様、手作り人形を提供いたしました川崎寿子様ありがとうございました。

☆お詫び

機関紙の発行が止まつてから二年目になつてしまひました。会員、読者、執筆者のみなさまにご心配、ご迷惑をおかけして申し訳ございません。記事の内容が、一年前になつておりますが、お許し下さい。

ひとえに代表たる井上の責任でございます。

次号につきましては、秋になる予定です。

よろしくお願ひします。

井上

☆募集

西宮市で一人暮らし始めた藤山富士美さんが介助者を探しています。

介助の内容は、調理、洗濯、そしてトイレ、お風呂など身の回りの介助。宿泊介助できる方も探しています。

(おわり)



☆募集中

だつたお二人ですが、震災でアパートを失つた暁子さんが吉永

さんの方までご連絡お願いします。電話は、〇七九八一六六一三五六八です。

初めての方、経験のある方、どなたでも結構です。藤山さんの方までご連絡お願いします。

☆お詫び

車いすウォーカー皆勤賞の林すまこさんが今年、お亡くなりになりました。ガイドビデオ製作をお手伝い戴いたロジャー(D.R.ウイブー)さんが交通事故でお亡くなりになりました。

ご冥福をお祈り致します。

☆バザー用品提供御礼

いつもバザー用品提供にご協力いただきありがとうございます。宝塚フェニックスまつり・チャリティバザーにもたくさん

の品物を提供してくださる余田登志江様、手作り人形を提供いたしました川崎寿子様ありがとうございました。

☆お詫び

機関紙の発行が止まつてから二年目になつてしまひました。会員、読者、執筆者のみなさまにご心配、ご迷惑をおかけして申し訳ございません。記事の内容が、一年前になつておりますが、お許し下さい。

ひとえに代表たる井上の責任でございます。

次号につきましては、秋になる予定です。

よろしくお願ひします。

井上

一九九六年度事業計画書

(一九九六年四月一日)

(一九九七年三月三十日)

G=宝塚市総合福祉センター

C=宝塚市立中央公民館

E=東公民館 W=西公民館

S=坂上宅 I=井上宅

A=Azur宝塚

CH=宝塚市役所

講座=ボランティア養成講座

・街へ出かけ隊!

政策集会=第二回障害者政策研究全国集会

四月

・十五日(月)

清荒神清澄寺晋山式招待
@清荒神清澄寺・二十七日(土)十時~十二時
講座=更衣動作十四時~
@G政策集会実行委員会
@神戸市労働会館

五月

・八日(水)十八時三〇分~
政策集会実行委員会運営会議
@西宮きんとーん・十二日(日)十三時~十四時
政策集会実行委員会学習会
一障害者プラン

@西宮市総合福祉センター

・十五日(水)十三時~
ボランティアグループ運営費助成説明会
@G・二十九日(水)十三時三〇~
宝塚祭チャリティ・バザー説明会
@CH議会第一会議室

研究全国集会

六月

・一日(土)事務局通信発行
政策集会実行委員会運営会議・三日(月)十八時三〇~
@西宮きんとーん・五日(水)十八時三〇~
政策集会実行委員会街づくり・九日(日)十三時~十四時
政策集会実行委員会学習会
@A一まちづくり
@W・十四時~十七時
政策集会実行委員会
@W・十五日(土)十三時三〇分~
一九九六年度通常総会
@G・二十四日(月)
政策集会中央実行委員会
@総評会館・三〇日(日)十三時~
政策集会実行委員会正式発足
記念講演会
@西宮市総合福祉センター・六日(土)
第一回役員会
@A・二十七日(土・祝)
第一回講座
@A・七日(土)
第三回役員会
@A・二十一日(土)~
第二回講座=宿泊演習
@A・二十二日(日)
第二回講座=宿泊演習
@未定十六時~二十一時三〇分
宝塚祭チャリティー・バザー
@阪神競馬場東ウイング一階・二十六日(月)
九時三〇分~十七時
シンポジウム
「障害者と防災」
@新宿区障害者福祉センター・二十一日(土)~
第二回役員会
@A・七日(土)
第三回役員会
@A・十九日(土)
第三回講座
@A・五日(土)
第四回役員会
@A・十九日(土)
第三回講座
@A・車いす、視力障害者介助演習
@G・三日(土)
第四回講座
@A・五日(土)
第四回役員会
@A・十九日(土)
第三回講座
@A・三日(土)
第二回役員会
@A・二十一日(水)
第二回役員会
@G

定例会

・二十七日 (日) 街頭募金 @ 清荒神清澄寺	・二十一日 (土) 第五回講座一
・十一月 一日 (金) ~ 五日 (火) アピア三祭チャリティー・ バザー @ アピア三	・一月 「一九九七年」
・二日 (土) 第五回役員会 @ A	・四日 (土) 第七回役員会 @ A
・十六日 (土) 第四回講座 @ G	・十八日 (土) 定例会 @ A
・三〇日 (土) 第二回障害者政策研究全国集 会一／二 @ 神戸しあわせの村	・二月 一日 (土) 第八回役員会 @ A
・一日 (日) 第二回障害者政策研究全国集 会二／二 @ 神戸しあわせの村	・十五日 (土) 第六回講座一 摂食・口腔機能学習会 @ G
・七日 (土) 第六回役員会 @ A	・三月 一日 (土) 第九回役員会 @ A
・十二月 一日 (日) 第七回講座一更衣実習 @ G	定例会 @ G

事務局住所変更のお知らせ

事務局への郵便物等の宛先が、左記のとおりに変わりましたので、今後、郵便物等は左記へお送りくださいますよう、お願い致します。なお、電話・ファックスの番号には変更ありません。

【新住所】

〒665 宝塚市平井二丁目十五一一 (井上方)

障害者情報クラブ 宛

TEL ○七九七一八八一〇四三二九

FAX ○七九七一八八一〇七七九

(坂上方)

編集後記

今号から編集担当になりました広内です。よろしくお願ひします。先日、情報クラブ恒例のボランティア講座＆懇親会に行きました。河西能勢口で、外出介助を中心として行いました。昼食はお好み焼き。みなさん和氣あいあいと食事がすすみ、

（広内）

話もすすみ、○一157も何処吹く風。ホロ酔いの人も？一年半ほど発行を休んでしまいましたが、情報クラブの名前のとおり、これからもどんどん情報を提供していきますので、よろしくお願ひします

K S K P (障害者情報クラブニュース 8) 第3種郵便物認可 通巻3612号 1996年10月21日発行 (19)

発行人
一九八四年八月二十日第三種郵便物認可
毎日発行
五百円

緑橋グリーンハイツ
1F アド企画

『KSKP 障害者情報クラブ』 1996.10.21
編集者 障害者情報クラブ企画局編集部
編集責任者 障害者情報クラブ代表 井上 聖
事務局 〒665 兵庫県宝塚市平井2丁目15-1(井上方)
TEL 0797-88-4329 FAX 0797-88-0779(自動)

郵便振込口座

記号14360 番号43110611